



pick-up contents on this issue

p.1~2 talk session

トークセッション
北翔大学・北翔大学短期大学部
2010年度 新体制スタート



p.3 campus

2010年
7月までを
振り返って

p.5~7 management

平成21年度 事業概要報告

p.8 schedule

8~12月の主な行事予定

p.4 circle

学生たちが
多彩に活躍
クラブ・サークル
活動報告



写真右から 齊藤徹 北翔大学短期大学部学長 相内眞子 北翔大学学長 芝田浩二 事務局長

大学・短期大学は新しいかたちへ

2010年度新体制スタート

今年の2月から大学・相内眞子学長、
短期大学部・齊藤徹学長の

学長2名体制で新たなスタートを切った北翔大学。

相内学長、齊藤学長、そして芝田浩二事務局長の3名が、
新しい大学・短期大学のあり方など、
今後の展望を語り合いました。

明るく元気な
学生たちを
自立した大人として
社会へ

—今年度がスタート
してからの数ヶ月を振
り返つて、あらためて
感じたことはあります
か？



さつをしてくれるのが教員の責務は、このよ
うに素晴らしい学生た
ちを丁寧に育てて、自
立した社会人として送
り出すこと。そこに向
かって一層の改革を進
めていきます。

本学の良さだと感じま
す。あいさつは対人関
係の基本ですから、社
会に出ても活きてくる
でしょう。

芝田 本学へ来訪され
た方からも「気持ちの
いい学校だね」とよく
お褒めの言葉をいただ
きます。この良さをも
っと伸ばして、自立し
た社会人として、活躍
してほしいと思ってい
ます。

齊藤 短期大学部の教
員からも、改革をどん
どん進めてほしいとい
う声がよく上がりま
す。全学的により良い
環境を目指していきま
しょう。

相内 これまでの先輩
たちがつくってきた温
かな雰囲気が、どんど
ん広がっていくとい
ります。そして、私たち
が受け持つことにな
り、一生懸命改革に取
り組んでいるところで
す。その中で元気づけ
られるのは、やはり明
るくて元気のいい学生
たちの存在です。

齊藤 本当にそうです。
多くの学生があります。



相内 今年度から大学
と短期大学部を各学長
が受け持つことになり、
一生懸命改革に取り組
んでいるところです。
その中で元気づけられ
るのは、やはり明るくて
元気のいい学生たちの存
在です。

生涯学習システム学部ニュース

芸術メディア学科 新入生交流会



芸術メディア学科新入生の交流会が5月29日(土)本学で行われました。まだ入学して2カ月ですが、1年生の実行委員が積極的に準備を進め、ドッジボール大会とジンギスカンパーティーを企画・運営致しました。天候にも恵まれ、先生方と一緒に楽しく交流会を満喫し、とても盛り上がった一日でした。

学習コーチング学科あれこれ



教員志望学生のスキルアップを目的に、札幌市、江別市、新篠津村などの小学校と連携した教育プログラムを実施しています。学生たちは半年から1年間、週1、2回の割合で学校へ出向き、授業のサポートなどをています。子どもの反応や雰囲気、教師の問いかけや授業の進め方を学ぶのに、教室ほど確かなものはありません。学生たちは実践的な資質を養い、教師への夢を明確にしています。

人間福祉学部ニュース

福祉・介護の魅力を伝える2つの取り組み 本学では2年目となる北海道の補助事業です

1.進路選択学生等支援事業

福祉・介護の仕事を目指す学生等を支援し、地域社会及び各年齢層の市民に福祉・介護の仕事の重要性と魅力を伝えることが目的です。

担当教員と本学大学院を卒業した専門員が、福祉・介護の仕事を効果的に伝える資料を作成し、大学祭や高校訪問の際にその魅力をPRしていきます。

また、福祉施設で活躍する職員によるトークセッションを開催し、地域社会に福祉・介護の仕事の重要性と魅力を伝えていきます。

2.潜在的有資格者等養成支援事業

地域の皆様に、福祉・介護サービスの意義や、重要性を理解してもらうことが目的です。在宅介護を現に実践されている方と在宅介護に興味関心のある方を対象に、「介護の基本」、「口腔ケア」など、講義と演習を交えた講習会「在宅介護塾」(全5回)を開催します。※9月上旬募集開始

相内学長 × 齊藤学長 × 芝田事務局長 トークセッション

北翔大学・北翔大学短期大学部
2010年度 新体制スタート

～大学・短期大学は新しいかたちへ～

す。それをさらに押し進めて、例えば、地域の方が学食で気軽にご飯を食べられるなど、もつと社会に開かれた大輪」と例えられます、連携をより緊密にして、そのような環境づくりに取り組んでいけばと思っています。



芝田 そうですね。例えば、教員が地域の方に向けて行っている公開講座には、私たち事務職員も参加して、地域の方とお話をするなど、もっと積極的に何かわることが大切だと感じています。また地域の方々には本学を使つていただきたいでPRをしていきたいです。

相内 私は、特に学長に就任して以来、事務職員には随分支えられています。何かを実現したいときは、やはり事務局のサポートなしでは物事が進みません。そして、齊藤学長が言われたように、教員と事務職員は大学運営の両輪であり、「本学の主人公は学生である」という意識をより強く共有していきたいですね。ただ、教員と職員が

芝田 そうですね。例えば、教員が地域の方に向けて行っている公開講座には、私たち事務職員も参加して、地域の方とお話をするなど、もっと積極的に何かわることが大切だと感じています。また地域の方々には本学を使つていただきたいでPRをしていきたいです。

芝田 お互いが意識を共有して、課題に対する理解度や問題意識の温度差をなくし、同じ方向に歩んでいくことが大切ですね。両学長が大切です。両学長の考え方や方針について、教員も事務職員も同じ認識を持つるよう、情報発信について、教員からも強く働きかけていただけれどと思いません。それと、もう一つお願いがあります。

相内 今は、特に学長に就任して以来、事務職員には随分支えられています。何かを実現したいときは、やはり事務局のサポートなしでは物事が進みません。そして、齊藤学長が言われたように、教員と事務職員は大学運営の両輪であり、「本学の主人公は学生である」

芝田 お互いが意識を共有して、課題に対する理解度や問題意識の温度差をなくし、同じ方向に歩んでいくことが大切ですね。両学長が大切です。両学長の考え方や方針について、教員も事務職員も同じ認識を持つるよう、情報発信について、教員からも強く働きかけていただけれどと思いません。それと、もう一つお願いがあります。

相内 今は、特に学長に就任して以来、事務職員には随分支えられています。何かを実現したいときは、やはり事務局のサポートなしでは物事が進みません。そして、齊藤学長が言われたように、教員と事務職員は大学運営の両輪であり、「本学の主人公は学生である」

芝田 そうですね。例えば、教員が地域の方に向けて行っている公開講座には、私たち事務職員も参加して、地域の方とお話をするなど、もっと積極的に何かわることが大切だと感じています。また地域の方々には本学を使つていただきたいでPRをしていきたいです。

芝田 お互いが意識を共有して、課題に対する理解度や問題意識の温度差をなくし、同じ方向に歩んでいくことが大切ですね。両学長が大切です。両学長の考え方や方針について、教員も事務職員も同じ認識を持つるよう、情報発信について、教員からも強く働きかけていただけれどと思いません。それと、もう一つお願いがあります。

短期大学部ニュース

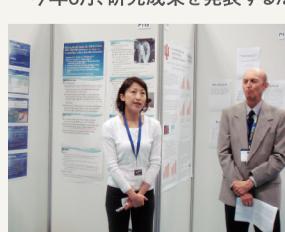
オスロ(ノルウェー)にて国際学会での研究発表

短期大学部 人間総合学科 准教授 花井 篤子 博士(体育科学)

本学には、全国の大学でも珍しいバリアフリー屋内プールとダイビングピットがあることをご存じですか？その施設を活用した私の研究テーマは「中高齢者を対象とした水中運動処方」です。

今年6月、研究成果を発表するため、オスロで開催された「国際バイオメカニクス水泳医学学会」に参加してきました。当学会は水泳・水中運動分野で最も権威があり、世界中の研究者が最新の研究成果を発表します。国際色豊かなディスカッションは大きな刺激となりました。

人間総合学科には、専門演習というゼミがあります。私のゼミは、スポーツ指導者やインストラクター志望の学生が、アクアフィットネス指導法を学内スポーツクラブ(スポーツクラブ)で学んでいます。学会参加で得られた成果は、ゼミでもフィードバック中です。



生涯スポーツ学部ニュース

地域連携・学外実習で学生が活躍しています！

生涯スポーツ学部スポーツ教育学科、健康プランニング学科の学生が、道内市町村との地域連携・学外実習に参加し活躍しています。「生涯学習体験実習」においては、3、4年生の学生57名が、スポーツ関連施設、野外教育施設などの生涯学習関連施設で実習を行い、企画・立案・運営の方法について学んでいます。



(財)さっぽろ健康スポーツ財団との連携事業の一環として、「花・水・木ウォーク2010(5/30)」「MLB Pitch Hit & Run JAPAN 2010(6/5)」「さっぽろトリムウォーク&トリムラン(6/13)」などの運営スタッフとして参加しています。

本学の学生はバイタリティー溢れる行動力と笑顔に満ちたコミュニケーション能力を発揮しながら、将来に向けての学びを体験しています。

平成21年度事業概要報告

において記念式典、祝賀会を開催した。

入学者数が昨年実績を下回る厳しい状況のもと、経費削減に向けた予算執行に努めるとともに、中期経営改善計画に基づく安定した経営、魅力ある教育の提供、地域社会に必要とする教育機関づくり等を目指し、創意工夫による効果的な教育・学生支援を展開・実施した。主な実績は次の通りである。

I 教育に関する事項

(1) 教育(内容・支援・体制)

学校名・学部・学科名等	入学定員	入学者数	編入定員	卒業生数	収容定員	在学生数
北翔大学大学院	16	19	—	15	32	41
人間福祉学研究科	10	11	—	9	20	23
生涯学習研究科	6	8	—	6	12	18
北翔大学	560	410	95	529	2,345	1,915
人間福祉学部	210	106	30	216	990	654
生涯学習システム学部	160	102	65	313	1,195	1,060
生涯スポーツ学部	160	202	—	—	160	201
北翔大学短期大学部	350	220	—	232	640	468
人間総合学科	150	74	—	104	300	209
こども学科	140	146	—	128	280	259
専攻科	60	—	—	—	60	0
北海道レスメーカー学院	180	81	—	73	380	150
法人合計	1,106	730	95	849	3,397	2,574

役員数	*平成21年5月1日現在(単位:人)		
	常勤	非常勤	計
理事	5	4	9
監事	0	3	3

教員・職員数	*平成21年5月1日現在(単位:人)						
法人部門	北翔大学		北翔大学短期大学部		北海道レスメーカー学院		法人合計
	人間福祉学科	生涯学習・生涯スポーツ学科	計	こども学科	人間総合学科	計	
学校長	0	0	1	0	1	0	1
副校长	0	1	0	0	1	1	1
教授(講)	0	15	31	6	52	7	8
准教授	0	8	10	4	22	4	6
講師	0	13	3	1	17	2	1
助手	0	1	0	0	1	0	0
本務教員計	0	38	45	11	94	14	15
兼任講師	0	—	—	—	202	—	—
本務職員	4	18	29	5	52	9	5
	74		74		14	4	74

5 同窓会との連携に関する事項	世界レベルの競技会で活躍した卒業生を本学の部活コーチとして迎え支援を受けた。P's フリースペース「hug」の改修など施設整備の面でも支援を受けた。同窓会誌での広報等により同窓会子女の入学者数も
詳しくは http://www.hokusho-u.ac.jp	詳しくは http://www.hokusho-u.ac.jp

6 運営・管理の改善及び効率化に関する事項	内部監査は計画通り実施され、結果として良好な評価を得た。教員免許更新講習は、教職センターで必修講座、講座、選択講座18講座を計画通り実施し、受講生から良好な評価を得た。教員免許更新講習は、教職センターで必修講座、講座、選択講座18講座を計画通り実施し、受講生から良好な評価を得た。スポーツ振興に関わる産官連携調印を行った。
詳しくは http://www.hokusho-u.ac.jp	詳しくは http://www.hokusho-u.ac.jp

[平成21年度決算概要]

■資金収支計算書(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

資金収支計算書とは、その年度の法人の諸活動に対応する収入及び支出の全て並びにその年度における支払資金の流れを明らかにするためのものです。そのため、次年度の収入となる前受金収入や施設設備に関する支出及び借入金返済支出等、資産・負債に係るものについても計上されます。

平成21年度の資金収入の合計は69億4千9百万円となり、前年度に比べ3億2千8百万円増加しました。学生徒等納付金収入は減少ましたが、私立大学等経常費補助金が75%復活による増加、前受金及び前年度繰越資金の増加によるものです。

資金支出では、教育研究経費は維持する一方、人件費、管理経費等の経費支出が大きく抑制されました。次年度に繰り越す支払資金は40億4千2百万円となり、前年度より5億7千3百万円増加となりました。

■収入の部	(単位:千円)			■支出の部	(単位:千円)		
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒納付金収入	2,850,830	2,861,885	△11,055	人件費支出	1,671,107	1,633,917	37,190
手数料収入	26,150	22,247	3,903	教育研究用経費支出	880,241	769,071	111,170
寄付金収入	6,000	6,471	△471	管理経費支出	250,718	216,855	33,863
補助金収入	316,920	304,971	11,949	借入金等利息支出	31,960	31,796	164
資産運用収入	26,780	30,217	△3,437	借入金等返済支出	206,371	206,370	1
資産売却収入	0	46	△46	施設関係支出	39,440	21,767	17,673
事業収入	57,520	58,399	△879	設備関係支出	84,269	83,517	752
雑収入	86,150	87,000	△850	資産運用支出	0	0	0
借入金等収入	0	0	0	その他の支出	78,740	77,990	750
前受金収入	761,190	726,356	34,834	〔予備費〕	16,547	—	0
その他の収入	109,101	128,111	△19,010	資金支出調整勘定	△151,140	△135,166	△15,974
資金収入調整勘定	△711,944	△745,869	33,925	次年度繰越支払資金	3,889,515	4,042,788	△153,273
前年度繰越支払資金	3,469,071	3,469,071	—	支出の部合計	6,997,768	6,948,905	48,863
収入の部合計	6,997,768	6,948,905	48,863				

*単位を千円としているため、本表で計算をした場合、合計等が一致しない場合があります。

貸借対照表(平成22年3月31日)

決算時(年度末)における資産・負債・基本金及び収支差額を把握するもので、法人の財政状態を表しています。

平成21年度末の資産は178億9千4百万円であり、前年度末に比べ6千百万円増加しています。減価償却による固定資産の減少により流動資産が増加しています。負債は、長期借入金返済により、1億4百万円減少しました。

総資産から総負債を差し引いた正味財産は148億9百万円となり、前年度に比べ1億6千6百万円の増加となりました。

■資産の部	(単位:千円)			■負債・基本金・消費収支差額の部	(単位:千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	13,786,332	14,273,117	△486,785	固定負債	2,064,174	2,246,281	△182,107
有形固定資産	12,737,672	13,184,531	△446,859	流動負債	1,020,961	942,660	78,301
その他の固定資産	1,048,660	1,088,585	△39,925	負債の部合計	3,085,135	3,188,941	△103,806
流動資産	4,107,429	3,559,522	547,907	基本金の部合計	16,271,812	16,555,004	△283,192
資産の部合計	17,893,761	17,832,639	61,122	消費収支差額の部合計	△1,463,186	△1,911,306	448,120
				負債・基本金・消費収支差額の部合計	17,893,761	17,832,639	61,122

*単位を千円としているため、本表で計算をした場合、合計等が一致しない場合があります。

消費収支計算書(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

資金収支計算書(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

■収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,850,830,000	2,861,885,554	△11,055,554
手数料収入	26,150,000	22,247,254	3,902,746
寄付金収入	6,000,000	6,471,500	△471,500
補助金収入	316,920,000	304,970,565	11,949,435
国庫補助金収入	312,410,000	296,581,000	15,829,000
地方公共団体補助金収入	4,510,000	8,389,565	△3,879,565
資産運用収入	26,780,000	30,217,197	△3,437,197
事業収入	57,520,000	58,398,470	△878,470
雑収入	86,150,000	86,999,923	△849,923
前受金収入	761,190,000	726,355,935	34,834,065
その他の収入	109,101,130	128,110,604	△19,009,474
資金収入調整勘定	△711,944,080	△745,869,011	33,924,931
前年度 繰越 支払資金	3,469,070,574	3,469,070,574	
収入の部 合計	6,997,767,624	6,948,904,565	48,863,059

■支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,671,106,848	1,633,917,338	37,189,510
教育研究経費支出	880,240,524	769,070,952	111,169,572
管理経費支出	250,718,129	216,854,794	33,863,335
借入金等利息支出	31,960,000	31,795,538	164,462
借入金等返済支出	206,371,000	206,370,000	1,000
施設関係支出	39,440,000	21,767,126	17,672,874
設備関係支出	84,269,054	83,516,776	752,278
資産運用支出	116	116	0
その他の支出	78,739,923	77,989,923	750,000
資金支出調整勘定	△151,140,000	△135,166,061	△15,973,939
次年度 繰越支払資金	3,889,515,260	4,042,788,063	△153,272,803
支出の部 合計	6,997,767,624	6,948,904,565	48,863,059

消費収支計算書(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

■消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,850,830,000	2,861,885,554	△11,055,554
手数料収入	26,150,000	22,247,254	3,902,746
寄付金収入	6,000,000	8,030,911	△2,030,911
補助金収入	316,920,000	304,970,565	11,949,435
国庫補助金収入	312,410,000	296,581,000	15,829,000
地方公共団体補助金収入	4,510,000	8,389,565	△3,879,565
資産運用収入	26,780,000	30,217,197	△3,437,197
事業収入	57,520,000	58,398,470	△878,470
雑収入	92,810,000	87,623,923	5,186,077
帰属収入 合計	3,377,010,000	3,373,373,874	3,636,126
消費収入の部 合計	3,377,010,000	3,373,373,874	3,636,126

■消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,628,436,894	1,591,247,384	37,189,510
教育研究経費支出	1,346,183,106	1,258,612,608	87,570,498
管理経費支出	296,500,000	271,529,694	24,970,306
借入金等利息支出	31,960,000	31,795,538	164,462
資産処分差額	1,000,000	45,101,095	△44,101,095
徴収不能額	0	431,500	△431,500
徴収不能引当金繰入額	7,500,000	9,728,000	△2,228,000
消費支出の部 合計	3,311,580,000	3,208,445,819	103,134,181
当年度 消費収入超過額	65,430,000	164,928,055	
前年度 繰越消費支出超過額	1,911,306,095	1,911,306,095	
基本金取崩額	238,194,000	283,192,080	
翌年度 繰越消費支出超過額	1,607,682,095	1,463,185,960	

貸借対照表(平成22年3月31日)

■資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	13,786,332,303	14,273,116,838	△486,784,535
有形固定資産	12,737,672,212	13,184,531,351	△446,859,139
土地	2,833,333,933	2,833,333,933	0
建物	8,319,101,150	8,634,052,240	△314,951,090
その他の有形固定資産	1,585,237,129	1,717,145,178	△131,908,049
その他の固定資産	1,048,660,091	1,088,585,487	△39,925,396
流動資産	4,107,428,786	3,559,521,784	547,907,002
現金預金	4,042,788,063	3,469,070,574	573,717,489
その他の流動資産	64,640,723	90,451,210	△25,810,487
資産の部 合計	17,893,761,089	17,832,638,622	61,122,467

■基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	15,930,811,766	16,214,003,846	△283,192,080
第3号基本金	30,000,000	30,000,000	0
第4号基本金	311,000,000	311,000,000	0
基本金の部 合計	16,271,811,766	16,555,003,846	△283,192,080

■消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度 繰越 消費支出超過額	1,463,185,960	1,911,306,095	△448,120,135
消費収支差額の部 合計	△1,463,185,960	△1,911,306,095	448,120,135

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部および 消費収支差額の部 合計	17,893,761,089	17,832,638,622	61,122,467

平成22年5月21日

監査報告書

学校法人 浅井学園
理事会 御中学校法人浅井学園
監事 上村信夫
監事 錦田昌市
監事 管野 眞

私たち監事は、私立学校法第37条第3項及び浅井学園寄付行為第16条の規定に基づき、学校法人浅井学園の平成21年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の業務並びに財産の状況を監査いたしました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

1.監査方法の概要

監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、かつ重要な決裁書類等を閲覧するとともに主要な関係部署において業務及び財産の状況を調査し、また会計監査人と連携を図り計算書類等につき検討を加えました。

2.監査の結果

- (1)会計監査人 新日本監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (2)財産目録、事業報告書、貸借対照表及び収支計算書は、法令及び寄付行為、学校会計基準に従い法人の財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3)理事の業務に関しては、不正の行為または法令若しくは規程に違反する重大な事実は認められません。

■資金収支計算書経年比較(平成19年度から平成21年度)

■収入の部			
科 目	19年度	20年度	21年度
学生生徒等納付金収入	3,540,148	3,195,362	2,861,885
手数料収入	27,404	26,214	22,247
寄付金収入	9,283	152	6,471
補助金収入	140,084	228,775	304,971
資産運用収入	28,482	32,222	30,217
資産売却収入	100	0	46
事業収入	51,932	63,281	58,399
雑収入	25,422	81,659	87,000
借入金等収入	0	0	0
前受金等収入	867,117	672,644	726,356
その他の収入	94,584	49,655	128,111
資金収入調整勘定	△1,052,445	△964,379	△745,869
前年度 緑越 支払資金	3,293,407	3,235,601	3,469,070
収入の部 合計	7,025,518	6,621,186	6,948,904

※単位を千円としているため、本表で計算をした場合、合計等が一致しない場合があります。

■支出の部			
科 目	19年度	20年度	21年度
人件費支出	1,872,773	1,727,097	1,633,917
教育研究費支出	853,540	760,379	769,071
管理経費支出	269,463	291,159	216,855
借入金等利息支出	51,879	35,467	31,796
借入金等返済支出	629,081	193,050	206,370
施設関係支出	32,219	22,477	22,124
設備関係支出	54,491	104,273	83,517
資産運用支出	15,003	10,001	0
その他の支出	73,541	76,987	77,633
資金支出調整勘定	△62,072	△68,774	△135,166
次年度 緑越 支払資金	3,235,601	3,469,070	4,042,787
支出の部 合計	7,025,518	6,621,186	6,948,904

■消費収支計算書経年比較(平成19年度から平成21年度)

■消費収入の部			
科 目	19年度	20年度	21年度
学生生徒等納付金収入	3,540,148	3,195,362	2,861,885
手数料収入	27,404	26,214	22,247
寄付金収入	12,289	4,081	8,031
補助金収入	140,084	228,775	304,971
資産運用収入	28,482	32,222	30,217
資産売却差額	0	0	0
事業収入	51,932	63,281	58,399
雑収入	25,639	83,111	87,624
帰属収入 合計	3,825,978	3,633,045	3,373,374
基本金組入額 合計	△423,813	△134,059	0
消費収入の部 合計	3,402,165	3,498,986	3,373,374

※単位を千円としているため、本表で計算をした場合、合計等が一致しない場合があります。

■消費支出の部			
科 目	19年度	20年度	21年度
人件費支出	1,854,082	1,688,376	1,591,247
教育研究費支出	1,339,907	1,247,604	1,258,613
(うち減価償却額)	(486,367)	(487,194)	(489,542)
管理経費支出	333,052	346,541	271,530
(うち減価償却額)	(56,987)	(55,267)	(54,675)
借入金等利息支出	51,879	35,467	31,796
資産処分差額	9,381	2,419	45,101
徴収不能額	16,335	3,051	432
徴収不能引当金繰入額	10,862	960	9,728
消費支出の部合計	3,615,497	3,324,416	3,208,447
当年度消費収入超過額	△213,332	174,570	164,927
前年度緑越消費収入超過額	△1,872,544	△2,085,876	△1,911,306
基本金取崩額			283,193
翌年度緑越消費収入超過額	△2,085,876	△1,911,306	△1,463,186

■貸借対照表経年比較(平成19年度から平成21年度)

■資産の部			
科 目	19年度	20年度	21年度
固定資産	14,676,383	14,273,117	13,786,332
有形固定資産	13,600,339	13,184,531	12,737,672
土地	2,833,334	2,833,334	2,833,334
建物	8,940,443	8,634,052	8,319,101
その他の有形固定資産	1,826,562	1,717,145	1,585,237
その他の固定資産	1,076,043	1,088,586	1,048,660
流動資産	3,269,095	3,559,522	4,107,429
現金預金	3,235,601	3,469,071	4,042,788
その他	33,494	90,451	64,641
資産の部 合計	17,945,478	17,832,639	17,893,761

※単位を千円としているため、本表で計算をした場合、合計等が一致しない場合があります。

■負債の部			
科 目	19年度	20年度	21年度
固定負債	2,478,052	2,246,281	2,064,175
長期借入金	2,054,630	1,861,580	1,663,320
退職給与引当金	423,422	384,701	342,031
長期未払金		0	58,824
流動負債	1,132,357	942,660	1,020,961
前受金	867,210	672,736	726,356
その他	265,147	269,924	294,605
負債の部 合計	3,610,409	3,188,941	3,085,136
基本金の部合計	16,420,945	16,555,004	16,271,812
消費収支差額の部 合計	△2,085,876	△1,911,306	△1,463,186
負債・基本金・消費収支差額の部 合計	17,945,478	17,832,639	17,893,761

教職員人事のご案内(平成22年2月11日～7月1日)

■新 任／学長(平成22年2月11日付)

北翔大学 学長 相 内 真 子
北翔大学短期大学部 学長 齊 藤 徹

■退 職／教育職員(平成22年3月31日付)

生涯学習システム学部 教 授 遠 藤 知恵子
生涯学習システム学部 教 授 那賀島 彰 一
生涯学習システム学部 准教授 山 田 亮
短期大学部 教 授 晴 山 純子
短期大学部 教 授 川 村 道 夫
短期大学部 教 授 紺 野 忠一郎
短期大学部 准教授 谷 本 百 子
人間福祉学研究科 助 手 佐 藤 祐 基

■新 任／教育職員(平成22年4月1日付)

生涯学習システム学部 講 師 伏 見 千 悅 子
生涯スポーツ学部 講 師 吉 田 昌 弘
短期大学部 教 授 矢 花 司
短期大学部 教 授 島 谷 光 二
短期大学部 講 師 清 水 桂 子
人間福祉学研究科 助 手 中 里 真 由 子

■新 任／副学長・研究科長・専攻主任・学部長・学科長(平成22年4月1日付)

北翔大学 副学長 山 谷 敬三郎
北翔大学短期大学部 副学長 岩 田 孝 子
人間福祉学部長 稲 田 尚 史
人間福祉学研究科長 稲 田 尚 史
生涯学習研究科長 山 田 敬三郎
生涯学習システム学部長 浅 尾 秀 樹
福祉心理学科長 佐 藤 至 英
臨床心理学専攻主任 佐 藤 至 英
人間福祉学専攻主任 佐 藤 至 英
芸術メディア学科長 加 藤 晴 阳
学習コーチング学科長 竹 田 唯 史
健康プランニング学科長 北 村 悅 子
人間総合学科長

こども学科長 水 谷 一 郎

■昇 任／教育職員(平成22年4月1日付)

人間福祉学部 教 授 小 坂 守 孝
人間福祉学部 准教授 忍 正 人
人間福祉学部 准教授 飯 田 昭 人
人間福祉学部 准教授 山 本 麻 由 美
生涯学習システム学部 准教授 中 山 雅 茂
生涯スポーツ学部 准教授 吉 田 真

■移 籍／教育職員(平成22年4月1日付)

人間福祉学部 教 授 作 原 ひとみ
生涯学習システム学部 准教授 大 信 田 静 子
生涯学習システム学部 准教授 大 林 の り 子
生涯スポーツ学部 教 授 尾 田 優 子
生涯スポーツ学部 教 授 加 藤 満 子
生涯スポーツ学部 教 授 高 岡 朋 子
生涯スポーツ学部 教 授 土 房 律 子
生涯スポーツ学部 教 授 竹 田 唯 史
生涯スポーツ学部 教 授 菊 地 は る ひ
生涯スポーツ学部 教 授 沖 田 孝 一
生涯スポーツ学部 准教授 上 田 知 行
生涯スポーツ学部 教 授 永 谷 稔 慎
短期大学部 教 授 大 関

コラム

本学園の歴史は、ヒト・モノ・コトが多様に重なり合って築かれてきました。それ一つひとつを見つめ直し、次に積み重ねるべき一手のヒントを探ります。

温校知新
since 193902：
雅館 miyabi-kan [1966]

北翔大学では、本紙「pal」をはじめホームページや北翔マガジンなど、多くのメディアを用いて学内情報を発信しています。その中で各施設の情報を取り上げられることも多いのですが、現在ではほとんどピックアップされることのなくなった施設があります。それが、今回紹介する「雅館」です。クラブ・サークルの部室や、陶芸スタジオ、彫刻スタジオ、また留学生向けの寮などとして複合的に使用されていますが、もともとは学生寮でした。昭和41年、本学が札幌から江別へ移転するのを機にキャンパス内に新築され、翌年には新館も完成。全部で学生室が54室、さらに食堂、浴室、各作業室、休憩室などを完備した先端的な学生寮として、その歴史は始まったのです。

当初は「寄宿舎」とだけ呼ばれていましたが、昭和44年からは故・浅井淑子学園長により「雅寮」と命名されました。この「雅」という言葉には、「女性らしい品位と知性ある生活をするように」との学園長の願いが込められているそうです。芸術メディア学科の大信田静子准教授も、学生時代に入寮していた1人。「1室4人で、必ず1人は先輩がいて、すごく親身に色々なことを教えていただきました。みんなで過ごす日常生活はとても楽しかったですし、新生歓迎会やクリスマス会などのイベントもありました。

↑学生寮として使用されていた当時の学生室の様子。1室4人で過ごしていました。
洋裁室などもあって、生活も学びも不自由のない環境でした」と、当時を振り返っていただきました。

完成から10数年の間は、毎年ほぼ満室状態でしたが、昭和50年代後半からは近隣にアパートやマンションが増え、入寮者数は減少傾向に。また、平成4年には向かいにPALが誕生し、寮の厨房は閉鎖され、寮生たちはPALの食堂を利用することになりました。そして徐々に学生寮としての役割は終えましたが、現在は前述したおりの使われ方で、まだまだ現役です。「漫画アニメ文化研究会」の部室(写真)をのぞかせてもらうと、人数は4人よりも数段多かったのですが、学生たちが楽しそうに語らっていました。このような、変わらない本学の素晴らしいことが、末永く続いていることを願ってやみません。

→浴室は現在も残され、学内外の関係者がさまざまな用途で宿泊利用する際に使われています。

御礼申し上げます

本学同窓会淑萃会より
5,371,500円のご寄付をいただきました。(平成21年度)

セノン株式会社 様より
50,000円のご寄付をいただきました。(平成21年度)
ご支援を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。

北翔大学 寄付金募集のご案内

本学では、このところの経済不況により就学の継続が困難な学生が増加しており、学生への支援とあわせて、良質な教育環境を今後も維持していくために、寄付金を募集しています。

ご支援を賜りました寄付金は有効に活用させていただき、有能な人材の輩出、社会に役立つ研究成果を通して、広く社会に還元し、貢献してまいります。

ご寄付をいただいた金額に税制上の優遇措置を受けることができますので、企業等法人及び個人の皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

[募集期間] 平成26年6月まで(常時受け入れさせていただきます)

お問い合わせは企画部企画広報課まで
詳細は本学ホームページ
<http://www.hokusho-u.ac.jp>をご覧ください。

2010年8月～12月の行事予定

2010.8 August～12 December Event schedule

共通行事予定				学科別行事予定	
August 8月	1日(日) 13日(金) 17日(火) 27日(金) 28日(土)	大学祭／夏季休業(～9/26) 学校閉鎖(～8/16) 教採第二次検査学習会(～9/3) 第1期大学院・第1期編入学試験 学内公開 第1期大学院・第1期編入学試験		2日(月) 9日(月)	こども学科 音楽専修クラス 学外演習(～8/4) こども学科 美術専修クラス 学外演習(～8/11) こども学科 2年次保育実習(～8/28)
September 9月	5日(日) 11日(土) 12日(日) 19日(日) 24日(金) 27日(月) 30日(木)	創立記念日 保護者懇談会(北見・帯広・函館・仙台会場) 保護者懇談会(本学会場) オープンキャンパス 後学期オリエンテーション／後学期履修登録訂正期間(～10/1) 就職ガイダンス(～9/25) 後学期講義開始／第1回教科書販売(～9/29) 前学期学位記授与式		6日(月)	地域福祉学科 介護実習I(～10/5)
October 10月	9日(土) 24日(日)	インターンシップ報告会 介護支援専門員実務研修受講試験(在学生立入禁止(体育施設以外))		9日(土) 16日(土) 23日(土)	こども学科 幼児体育指導者検定(～11日) 生涯学習システム学部 10周年記念行事(於:ポルト) こども学科 収穫祭
November 11月	2日(火) 20日(土) 21日(日)	第16回培花女子大学訪問研修(～11/8) 推薦入試・社会人・帰国子女特別選抜入学試験学内公開(在学生立入禁止) 推薦入試・社会人・帰国子女特別選抜入学試験(在学生立入禁止)		7日(日) 13日(土) 27日(土)	人間総合学科 えべつFUROSHIKIフェスティバル2010(～1/16) 人間総合学科 えべつFUROSHIKIフェスティバルオンステージ 学習コーチング学科 コーチング研究会
December 12月	4日(土) 11日(土) 24日(金)	第2期編入学試験 オープンキャンパス 冬季休業(～1/10)		10日(金) 11日(土) 18日(土)	人間総合学科 舞台芸術 定期公演(～11日) こども学科 美術専修卒業制作展 こども学科 音楽専修卒業記念学外発表会

[平成23年度 教員採用候補者選考検査 第二次検査学習会のご案内]

平成23年度北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査第一次検査が7月4日(日)に行われました。教育実習、部活動等で忙しい中、本学の学生も多数受検しました。第二次検査(個別面接、集団面接、論文検査、実技検査等)は9月4日(土)、5日(日)に行われます。難関を突破するためには周到な準備が必要です。本学では昨年に引き続き、第二次検査に向けた学習会を行います。各学部、学科の教員が一丸となり、指導にあたります。期間中は土・日曜日も実施しますので、期限付教員として勤務している卒業生も参加可能です。

実施日 平成22年8月17日(火)～9月3日(金)
10:00～17:00 ※月曜日は休み

対象者 平成23年度 教員採用候補者選考検査
第一次検査を受検した者
(受講にあたっては事前申込みが必要です)

お問い合わせ・お申し込み：
教職センター TEL.011-387-4082(直通)

[北翔大学大学院・編入学試験のご案内]

願書受付期間	試験日	合格発表日[予定]
大学院 第1期 入学試験 編入学 第1期 入学試験	平成22年8月2日(月)～8月20日(金)必着	8月28日(土) 9月4日(土)
編入学 第2期 入学試験	平成22年11月15日(月)～11月26日(金)必着	12月4日(土) 12月11日(土)

※平成23年度入学生(編入学も含む)が下記に該当する場合は、学費等の一部を入学後の申請により返還いたします。

- ・本学卒業生および本学卒業生の子息・息女、兄弟姉妹、父母の入学金と同窓会費の半額
- ・本学在学生の兄弟姉妹、父母、子息、息女の入学金と同窓会費の半額
- ・兄弟姉妹が本学に同時に入学した場合は、一人分を除いた入学金と一人分を除いた同窓会費の半額

※本学とは北翔大学、北翔大学大学院および北翔大学短期大学部です。(旧名称も含みます。)

お問い合わせ：
アドミッションセンター TEL.011-387-3906(直通)

[保護者懇談会のご案内]

北翔大学・北翔大学短期大学部では、学生支援や進路・就職支援などの状況や、取り組みなどについてご説明する「平成22年度保護者懇談会」を、9月11日(土)・12日(日)に道内外の5会場で開催いたします。担当教員にどのようなことでもご質問・ご相談いただける個別面談も実施いたしますので、ぜひご参加ください。

地区	日時	会場
北見		ビッグアーチホテル 北見市北2条東4丁目
帯広	9月11日(土) 13:00～16:00	とかち館 帯広市西7条南6丁目2
函館		函館国際ホテル 函館市大手町5-10
仙台		ホテルペルエア仙台 仙台市青葉区一番町4-8
本学	9月12日(日) 13:00～16:00	北翔大学カレッジホールPAL

[エクステンションセンター後期講座(8月～12月)のご案内]

実力講座	MOS (マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト) 試験短期集中対策講座	[Word 2007対策] 9/7 開講 火～金曜日 全4回 9:30～16:30	医療事務講座 8/18 開講 月・水・金曜日 全9回 9:30～16:30	ホームヘルパー研修 2級課程講座(通信制) ・スクーリング 8/18 開講 月～金曜日 全8回 9:00～17:10 ・自宅学習/課題提出4回 ・外部施設実習4～5回
社会人の学び直し デザイン プレゼンテーション 講座	3ds max初級講座 モデリング・マテリアル 8/25(水)・26(木)・27(金) 開講 全3回 18:00～21:00	3ds max初級講座 レンダリング・アニメーション 9/15(水)・16(木) 開講 全2回 18:00～21:00	After Effectsの初步 簡単な映像作成と合成 9/29(水)・30(木) 開講 全2回 18:00～21:00	
教養講座	人が集えば 文殊の知恵袋講座 秋の歴史探訪 9/14 開講 火曜日 13:10～14:40	裏千家茶道教室 (9月コース) 8/31 開講 火曜日 全4回 13:30～15:30	1DAYセミナー 9/6(月) 10:20～12:20	年齢差がある人との コミュニケーションの 仕方 9/6(月) 13:00～15:00
北翔大学 おもしろ算数教室 大学生のお兄さんお姉さんと 算数を楽しもう!	小学3年生・4年生 コース 9/11 開講 土曜日 全3回 10:00～11:30	小学5年生・6年生 コース 10/2 開講 土曜日 全3回 10:00～11:30		

お問い合わせ・お申し込み：
エクステンションセンター TEL.011-387-3939(直通)

※講座の詳細については、エクステンションセンターのパンフレットをご覧ください。
※ご希望の方には郵送いたしますので、お気軽にお電話ください。